

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-216	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	コⅡ・335	<b>Compass</b> English Communication Ⅱ Revised		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、自律した個人として我が国社会の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指し、下記のような点に配慮しました。

◎これからの社会を支える若者として知っておきたい**現代的なトピック**を扱いました。

◎生徒の学習意欲を高めるため、学校生活や家庭生活に関連した**身近なテーマの題材**を多く取り入れました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 Words to Live By	著名人の名言と彼らの生き方を読み取り、将来の生き方の指針を考えることにより、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。(第2号)	pp. 5-14
Lesson 2 Takuya's Adventure in Canada	日本の高校生のカナダでの滞在記を読むことで、外国語を学ぶことや異文化理解の意義を理解し、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 15-24
Lesson 3 Cooking with the Sun	太陽光で調理をする器具の説明を読むことで、環境に配慮した持続可能な社会づくりを考えることにより、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp.27-36
Lesson 4 Mandy Loves Japanese Food	日本の食文化について紹介する文章を読むことで、他国の文化と比較しながら日本文化を再評価する視点を持つことにより、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp.37-48
Supplementary Reading 1 Information Please	少年と電話交換手との心の交流と2人の心情を読み取ることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 50-54
Lesson 5 Table for Two	自分の両親の知り合ったきっかけを語る文章を読むことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 55-66
Lesson 6 Architect in Action	建築家・安藤忠雄氏の作品や生き方、メッセージを読むことで、職業選択や将来の生き方の指針を考え、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。(第2号)	pp. 67-80

Lesson 7 Sleeping and Dreaming	睡眠と夢に関する説明を読むことで、健康についての科学的な考察に基づいて自らの生活習慣を見直すことにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 83-94
Lesson 8 Life in a Jar	第二次世界大戦中にユダヤ人の子どもたちを救った勇気ある女性の行動を知ること、平和への取り組みについて考え、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 95-106
Supplementary Reading 2 The <i>Mary Celeste</i>	大型貨物船の遭難にまつわるミステリーを読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 108-114
Lesson 9 Money around the World	お金にまつわる世界の文化・習慣について知ることにより、他国と比較しながら身近な文化について考え、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 115-127
Lesson 10 Water	水に関するプレゼンテーションを図表等を参照しながら理解し、環境保護について何ができるかを考えることにより、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp. 129-141
Supplementary Reading 3 Grandma's Witching Lesson	少女とその祖母との心の交流と2人の心情を読み解くことにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp.142-149

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に掲げられた目標を達成するため、実用的な英語運用能力の育成と、生涯にわたって学習を継続する自律的学習者育成を目指し、下記のような点に配慮しました。

- ◎中学やコミュニケーション英語 I での既習事項と関連づけながら、**基礎・基本の定着を図りました。**
- ◎**4技能をバランスよく統合した活動を工夫しました。**
- ◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち、**実際に英語を使用する場面を多く**設定しました。
- ◎**写真やイラスト等を適切に使い、学びやすさへ配慮しました。**
- ◎内容理解の設問は英語によるものとし、**英語で授業を進めやすいよう配慮**をしました。
- ◎随所に配置されたコラムにより、生徒の学習方略への意識を高め、**生涯学習を見据えた自律的学習者育成**を目指しました。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-216	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	コⅡ・335	<b>Compass</b> English Communication II Revised		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ◎英語の基礎・基本を定着させる工夫

- ・各レッスンの本文総語数は360～760語程度とし、読んだり聞いたりした内容について概要・要点を把握する課題を設定しました。
- ・文法事項・文構造については、基礎・基本のスパイラルな定着を目指し、新出事項も中学やコミュニケーション英語Ⅰでの既習事項と関連づけて学習できるように配列等にも配慮しました。
- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法用語の使用は最小限に抑え、学んだ文法事項を実際に使ってみる活動を多く取り入れました。

### ◎学びやすさへの配慮

- ・1レッスンを3パートまたは4パートに分け、各パートを見開き2ページで構成しています。授業で学習する内容が一目で分かるよう工夫しました。
- ・生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げました。
- ・写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫しました。

### ◎4技能を統合した活動の工夫

- ・各パートに、ペア活動を中心とする言語活動を配置し、生徒の身近な話題について話したり聞いたりする活動を設定しました (Use it!)。
- ・各パート・レッスンには、本文の内容理解を確認するための聞く・話す・書く課題を設定しました (Answer it!, Review)。
- ・各レッスンには、本文のテーマや言語材料に関連した言語活動 (話す・聞く・書く)を配置し、生徒が学んだ英語を実際に使ってみる場面を設定しました (Enjoy communication)。

## ■各レッスンの構成■

1. **各レッスン扉**—本文へスムーズに導入できるよう、写真を中心に視覚的な配慮を施しました。
2. **本文**—英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーによる書き下ろしです。各パートには脚注と新出単語の提示の他、<Sound>として音読する際の発音上の注意点をあげています。
3. **本文対向ページ**—①Answer it! : 本文の内容理解確認のQ&A。②Focus on it! : ターゲットとなる文法事項の提示。色分けや記号等で視覚的にも理解できるように配慮しました。③Check it! : 文法事項の確認問題。基本的なものに絞りました。④Use it! : 学んだ文法事項を使ってペアで会話練習する言語活動を用意しました。
4. **各レッスン末**—①Review : 本文の内容について、A.リスニングによるT-F, B.本文の内容に合わせた様々な形式 (空所補充, 文の並べ替え等) で確認する問題。②Practice : 本文で学んだ文法事項や語彙・表現を確認する練習問題。イラストを使うなど言語形式と使用場面を関連づけるよう配慮しました。③Enjoy communication : 本文と関連するテーマについて話す・書く活動を中心としたコミュニケーション活動。理解や表現のポイントをあげ、生徒が自分のことや身近なことを英語で表現できるよう配慮しました。
5. **Supplementary Reading**—補充的読み物教材を3編用意しました。
6. **Follow the Compass**—自律的学習者養成の観点から、4技能に分けて英語学習のポイントを示し、その活動例を提示しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1 Words to Live By	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面：手紙やメールのやりとり／b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：学校での学習や活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 関係代名詞の用法 (ロ) 関係副詞の用法 (ハ) 動詞の時制など</p>	<p>(1) ア：本文 (p.6, 8, 10), Review A (p.12) (1) イ：本文 (p.6, 8, 10), Answer it! (p.7, 9, 11), Review B (p.12) (1) ウ：Use it! (p.7, 9, 11), Enjoy communication (p.14) (1) エ：Review B (p.12), Practice (pp.13-14) (2) ア：本文, Sound (p.6, 8, 10), Use it! (p.7, 9, 11), Enjoy communication (p.14) (2) イ：本文 (p.6, 8, 10), Practice (pp.13-14) (2) ウ：本文 (p.6, 8, 10), Review A (p.12) (2) エ：Answer it!, Use it! (p.7, 9, 11), Enjoy communication (p.14) 第3款 1：本文(p.6, 8, 10), Use it! (p.7, 9, 11), Review B (p.12), Enjoy communication (p.14) 2：Focus on it!, Check it! (p.7, 9, 11), Practice (pp.13-14)</p>	9
Lesson 2 Takuya's Adventure in Canada	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面：旅行／b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：助言する 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 不定詞の用法 (ロ) 仮定法</p>	<p>(1) ア：本文 (p.16, 18, 20), Review A (p.22) (1) イ：本文 (p.16, 18, 20), Answer it! (p.17, 19, 21), Review B (p.22) (1) ウ：Use it! (p.17, 19, 21), Enjoy communication (p.24) (1) エ：Review B (p.22), Practice (pp.23-24) (2) ア：本文, Sound (p.16, 18, 20), Use it! (p.17, 19, 21), Enjoy communication (p.24) (2) イ：本文 (p.16, 18, 20), Practice (pp.23-24) (2) ウ：本文 (p.16, 18, 20), Review A (p.22) (2) エ：Answer it!, Use it! (p.17, 19, 21), Enjoy communication (p.24) 第3款 1：Use it! (p.17, 19, 21), Enjoy communication (p.24) 2：Focus on it!, Check it! (p.17, 19, 21), Practice (pp.23-24)</p>	9
Follow the Compass!① Listening	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.25) (2) ア：本文 (p.25) (2) ウ：本文 (p.25)</p>	1
Quiz 1 動物を用いた おもしろ英語表現	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.26) (2) ウ：本文 (p.26)</p>	1
Lesson 3 Cooking with the Sun	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：助言する、誘う、注意を引く 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ (イ) 関係代名詞の用法</p>	<p>(1) ア：本文 (p.28, 30, 32), Review A (p.34) (1) イ：本文 (p.28, 30, 32), Answer it! (p.29, 31, 33), Review B (p.34) (1) ウ：Use it! (p.29, 31, 33), Enjoy communication (p.36) (1) エ：Review B (p.34), Practice (pp.35-36) (2) ア：本文, Sound (p.28, 30, 32), Use it! (p.29, 31, 33), Enjoy communication (p.36) (2) イ：本文 (p.28, 30, 32), Practice (pp.35-36) (2) ウ：本文 (p.28, 30, 32), Review A (p.34) (2) エ：Answer it!, Use it! (p.29, 31, 33), Enjoy communication (p.36) 第3款 1：本文 (p.28, 30, 32), Use it! (p.29, 31, 33), Enjoy communication (p.36) 2：Focus on it!, Check it! (p.29, 31, 33), Practice (pp.35-36)</p>	9
Lesson 4 Mandy Loves Japanese Food	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.38, 40, 42, 44), Review A (p.46) (1) イ：本文 (p.38, 40, 42, 44), Answer it! (p.39, 41, 43, 45), Review B (p.46) (1) ウ：Use it! (p.39, 41, 43, 45), Enjoy communication (p.48) (1) エ：Review B (p.46), Practice (pp.47-48) (2) ア：本文, Sound (p.38, 40, 42, 44), Use it! (p.39, 41, 43, 45), Enjoy communication (p.48) (2) イ：本文 (p.38, 40, 42, 44), Practice (pp.47-48)</p>	9

	<p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] a. 特有の表現がよく使われる場面：手紙や電子メールのやりとり／b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活，学校での学習や活動，地域での活動</p> <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ，聞き直す，繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める，感謝する，驚く，心配する／c 情報を伝える：説明する，理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する，反対する，主張する／e 相手の行動を促す：助言する，命令する，注意を引く</p> <p>2 イ 文構造のうち，運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 関係代名詞の用法 (ハ) 動詞の時制など (ロ) 分詞構文</p>	<p>(2) ウ：本文 (p.38, 40, 42, 44), Review A (p.46)</p> <p>(2) エ：Answer it!, Use it! (p. 39, 41, 43, 45), Enjoy communication (p.48)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文 (p. 38, 40, 42, 44), Use it! (p. 39, 41, 43, 45), Enjoy communication (p.48)</p> <p>2：Focus on it!, Check it! (p. 39, 41, 43, 45), Practice (pp. 47-48)</p>	
Follow the Compass!② Speaking	<p>(1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	<p>(1) ウ：本文 (p.49)</p> <p>(2) ア：本文 (p.49)</p> <p>(2) エ：本文 (p.49)</p>	1
Supplementary Reading 1 Information Please	<p>(1)イ 説明，評論，物語，随筆について，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	<p>(1) イ：本文 (pp.50-53)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.54)</p> <p>(1) エ：Comprehension (p.54)</p> <p>(2) ア：本文 (pp.50-53)</p> <p>(2) ウ：本文 (pp.50-53)</p> <p>(2) エ：Comprehension (p.54)</p>	5
Lesson 5 Table for Two	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明，評論，物語，随筆について，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面：旅行，食事，電話での応答 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活，学校での学習や活動</p> <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ，聞き直す，繰り返す，言い換える／b 気持ちを伝える：褒める，感謝する，驚く，心配する／c 情報を伝える：説明する，理由を述べる／d 考えや意図を伝える：申し出る／e 相手の行動を促す：依頼する，助言する，注意を引く</p> <p>2 イ 文構造のうち，運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 関係代名詞の用法 (キ) 仮定法</p>	<p>(1) ア：本文 (p.56, 58, 60, 62), Review A (p.64)</p> <p>(1) イ：本文 (p.56, 58, 60, 62), Answer it! (p.57, 59, 61, 63), Review B (p.64)</p> <p>(1) ウ：Use it! (p.57, 59, 61, 63), Enjoy communication (p.66)</p> <p>(1) エ：Review B (p.64), Practice (pp.65-66)</p> <p>(2) ア：本文, Sound (p.56, 58, 60, 62), Use it! (p.57, 59, 61, 63), Enjoy communication (p.66)</p> <p>(2) イ：本文 (p.56, 58, 60, 62), Practice (pp. 65-66)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.56, 58, 60, 62), Review A (p.64)</p> <p>(2) エ：Answer it!, Use it! (p.57, 59, 61, 63), Enjoy communication (p.66)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文 (p.56, 58, 60, 62), Use it! (p.57, 59, 61, 63), Enjoy communication (p.66)</p> <p>2：Focus on it!, Check it! (p.57, 59, 61, 63), Practice (pp. 65-66)</p>	10
Lesson 6 Architect in Action	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明，評論，物語，随筆について，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活，学校での学習や活動</p> <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ，繰り返す，言い換える／b 気持ちを伝える：褒める，感謝する，驚く，心配する／c 情報を伝える：説明する，理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する，反対する／e 相手の行動を促す：依頼する，助言する，注意を引く</p> <p>2 イ 文構造のうち，運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 不定詞の用法 (ク) 助動詞の用法</p>	<p>(1) ア：本文 (p.68, 70, 72, 74), Review A (p.78)</p> <p>(1) イ：本文 (p. 68, 70, 72, 74), Answer it! (p.69, 71, 73, 75), Review B (p.78)</p> <p>(1) ウ：Use it! (p.69, 71, 73, 75), Enjoy communication (p.80)</p> <p>(1) エ：Review B (p.78), Practice (pp. 79-80)</p> <p>(2) ア：本文, Sound (p. 68, 70, 72, 74), Use it! (p. 69, 71, 73, 75), Enjoy communication (p.80)</p> <p>(2) イ：本文 (p. 68, 70, 72, 74), Practice (pp. 79-80)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.68, 70, 72, 74), Review A (p.78)</p> <p>(2) エ：Answer it!, Use it! (p. 69, 71, 73, 75), Enjoy communication (p.80)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文 (p. 68, 70, 72, 74), Use it! (p. 69, 71, 73, 75), Enjoy communication (p.80)</p> <p>2：Focus on it!, Check it! (p. 69, 71, 73, 75), Practice (pp. 79-80)</p>	10
Follow the Compass!③ Reading	<p>(1) イ 説明，評論，物語，随筆について，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>	<p>(1) イ：本文 (p.81)</p> <p>(2) ア：本文 (p.81)</p> <p>(2) イ：本文 (p.81)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.81)</p>	1
Quiz 2 身体の部分を用いたおもしろ英語表現	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。</p> <p>(2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.82)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.82)</p>	1
Lesson 7 Sleeping and Dreaming	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明，評論，物語，随筆について，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活，学校での学習や活動</p> <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ，聞き直す，言い換える／</p>	<p>(1) ア：本文 (p.84, 86, 88, 90), Review A (p.92)</p> <p>(1) イ：本文 (p.84, 86, 88, 90), Answer it! (p.85, 87, 89, 91), Review B (p.92)</p> <p>(1) ウ：Use it! (p.85, 87, 89, 91), Enjoy communication (p.94)</p> <p>(1) エ：Review B (p.92), Practice (pp.93-94)</p> <p>(2) ア：本文, Sound (p.84, 86, 88, 90), Use it! (p.85, 87, 89, 91), Enjoy communication (p.94)</p> <p>(2) イ：本文 (p.84, 86, 88, 90), Practice (pp.93-94)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.84, 86, 88, 90), Review A (p.92)</p> <p>(2) エ：Answer it!, Use it! (p.85, 87, 89, 91), Enjoy communication (p.94)</p>	11

	<p>b 気持ちを伝える：褒める、感謝する／c 情報を伝える：説明する、報告する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：主張する／e 相手の行動を促す：依頼する、助言する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (h) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの (h) 仮定法</p>	<p>第3款</p> <p>1 : Use it! (p.85, 87, 89, 91), Enjoy communication (p.94)</p> <p>2 : Focus on it!, Check it! (p.85, 87, 89, 91), Practice (pp.93-94)</p>	
<p>Lesson 8</p> <p>Life in a Jar</p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動／c. 多様な手段を通じて情報などを得る場面：本、新聞、雑誌などを読むこと、テレビや映画などを観ること</p> <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、聞き直す、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、感謝する、驚く／c 情報を伝える：説明する、報告する、理由を述べる、要約する、訂正する／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する／e 相手の行動を促す：依頼する、注意を引く</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (f) 関係代名詞の用法 (g) 関係副詞の用法 (h) 動詞の時制など</p>	<p>(1) ア：本文 (p.96, 98, 100, 102), Review A (p.104)</p> <p>(1) イ：本文 (p.96, 98, 100, 102), Answer it! (p.97, 99, 101, 103), Review B (p.104)</p> <p>(1) ウ：Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>(1) エ：Review B (p.104), Practice (pp.105-106)</p> <p>(2) ア：本文, Sound(p.96, 98, 100, 102), Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>(2) イ：本文 (p.96, 98, 100, 102), Practice (pp.105-106)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.96, 98, 100, 102), Review A (p.104)</p> <p>(2) エ：Answer it!, Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>第3款</p> <p>1 : Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>2 : Focus on it!, Check it! (p.97, 99, 101, 103), Practice (pp.105-106)</p>	11
<p>Follow the</p> <p>Compass!④Writing</p>	<p>(1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	<p>(1) ウ：本文 (p.107)</p> <p>(1) エ：本文 (p.107)</p> <p>(2) エ：本文 (p.107)</p>	1
<p>Supplementary</p> <p>Reading 2</p> <p>The Mary Celeste</p>	<p>(1)イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	<p>(1) イ：本文 (pp.108-113)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.114)</p> <p>(1) エ：Comprehension (p.114)</p> <p>(2) ア：本文 (pp.108-113)</p> <p>(2) ウ：本文 (pp.108-113)</p> <p>(2) エ：Comprehension (p.114)</p>	7
<p>Lesson 9</p> <p>Money around the</p> <p>World</p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動</p> <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、仮定する、推論する／e 相手の行動を促す：助言する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (h) 動詞の時制など (f) 分詞構文</p>	<p>(1) ア：本文 (p.116, 118, 120, 122), Review A (p.124)</p> <p>(1) イ：本文 (p. 116, 118, 120, 122), Answer it! (p.117, 119, 121, 123), Review B (p.124)</p> <p>(1) ウ：Use it! (p. 117, 119, 121, 123), Enjoy communication (pp.126-127)</p> <p>(1) エ：Review B (p.124), Practice (pp.125-126)</p> <p>(2) ア：本文, Sound (p. 116, 118, 120, 122), Use it! (p. 117, 119, 121, 123), Enjoy communication (pp.126-127)</p> <p>(2) イ：本文 (p. 116, 118, 120, 122), Practice (pp. 125-126)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.116, 118, 120, 122), Review A (p.124)</p> <p>(2) エ：Answer it!, Use it!(p. 117, 119, 121, 123), Enjoy communication (pp.126-127)</p> <p>第3款</p> <p>1 : Use it! (p. 117, 119, 121, 123), Enjoy communication (pp.126-127)</p> <p>2 : Focus on it!, Check it! (p. 117, 119, 121, 123), Practice (pp. 125-126)</p>	12
<p>Quiz 3 英語になった</p> <p>日本語</p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>(2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.128)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.128)</p>	1
<p>Lesson 10</p> <p>Water</p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>(2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p>エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動／c. 多様な手段を通じて情報などを得る場面：情報通信ネットワークを活用し情報を得ること</p> <p>[言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：言い換える、話題を発展させる／b 気持ちを伝える：望む、驚く／c 情報を伝える：説明する、描写する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：注意を引く、助言する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (f) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの (h) 動詞の時制など</p>	<p>(1) ア：本文 (p.130, 132, 134, 136), Review A (p.138)</p> <p>(1) イ：本文 (p.130, 132, 134, 136), Answer it! (p.131, 133, 135, 137), Review B (p.138)</p> <p>(1) ウ：Enjoy communication(pp.140-141)</p> <p>(1) エ：Review B (p.138), Practice (pp.139-140)</p> <p>(2) ア：本文, Sound (p.130, 132, 134, 136), Enjoy communication (pp.140-141)</p> <p>(2) イ：本文 (p.130, 132, 134, 136), Practice (pp.139-140)</p> <p>(2) ウ：本文 (p.130, 132, 134, 136, 137), Review A (p.138)</p> <p>(2) エ：Answer it! (p.131, 133, 135, 137), Enjoy communication (pp. 140-141)</p> <p>第3款</p> <p>1 : 本文 (p.130, 132, 134, 136), Enjoy communication (pp. 140-141)</p> <p>2 : Focus on it!, Check it! (p.131, 133, 135, 137), Practice (pp.139-140)</p>	12
<p>Supplementary</p> <p>Reading 3</p>	<p>(1)イ 説明、評論、物語、随筆について、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話</p>	<p>(1) イ：本文 (pp.142-148)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.149)</p> <p>(1) エ：Comprehension (p.149)</p>	8

Grandma's Witching Lesson	<p>し合うなどして結論をまとめる。  エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。  (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。  ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。  エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>	(2) ア：本文 (pp.142-148) (2) ウ：本文 (pp.142-148) (2) エ：Comprehension (p.149)	
IDIOM LIST WORD LIST	ア 語、連語及び慣用表現 (7) 語 b 「コミュニケーション英語Ⅱ」にあつては、中学校、コミュニケーション英語Ⅰで学習した語を除いた700語程度の新語 (i) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの	(7) : WORD LIST (pp.152-160) (i) : IDIOM LIST (pp.150-151)	—
計			129